

**平成30年度**

**香芝市一般会計予算の概要**

香芝市総務部財務局財政課

## 予算案の概要

### 一般会計予算の概要

本市の財政状況は、平成28年度決算に基づく健全化判断比率について、実質公債費比率で19.0%、将来負担比率で148.6%であり、いずれも前年度より改善し早期健全化基準はクリアしています。しかし、依然として高い数値で推移していることから、更なる改善に向けた取り組みを継続する必要があります。

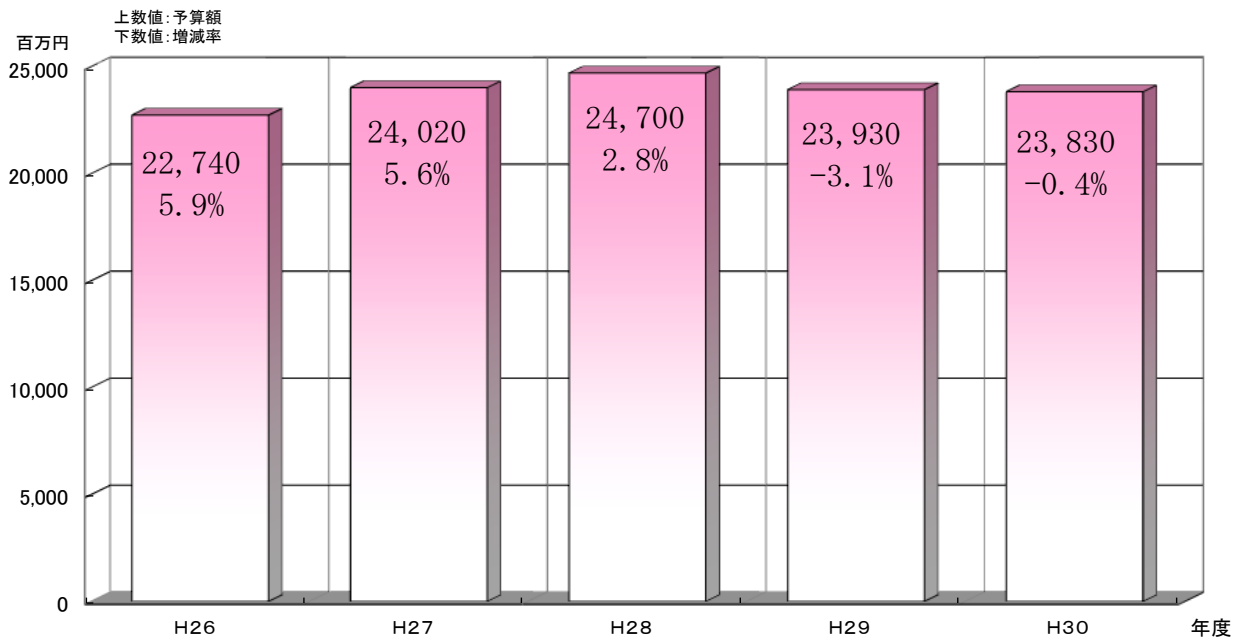
また、今後においても少子高齢化などに伴う社会保障関係経費や子ども・子育て支援に係る経費のほか、ごみ処理施設の建て替え、スポーツ公園整備、更には公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の老朽化対策などの経費の増大が見込まれます。

そこで、平成30年度の予算編成については、第4次香芝市総合計画後期基本計画において設定した施策を中心に着実に取り組む一方、多様化する市民ニーズを適切に把握しつつ、事務事業全般について、「事務・事業のレビュー」を行い、施策効果の薄れた事業に対する見直し・合理化、廃止を一層進めるなど、事業の厳選や経費の精査、また、引き続き歳入の確保を図るとともに、スクラップ・アンド・ビルドによる財源創出を徹底することにより、持続可能な財政基盤の確立と市民サービスの向上を目指したところであります。

### 一般会計の概要

平成30年度一般会計の予算規模は、**238億3,000万円**で前年度と比べると1億円の減（0.4%減）となりました。

### 【一般会計予算規模の推移】



## 歳入

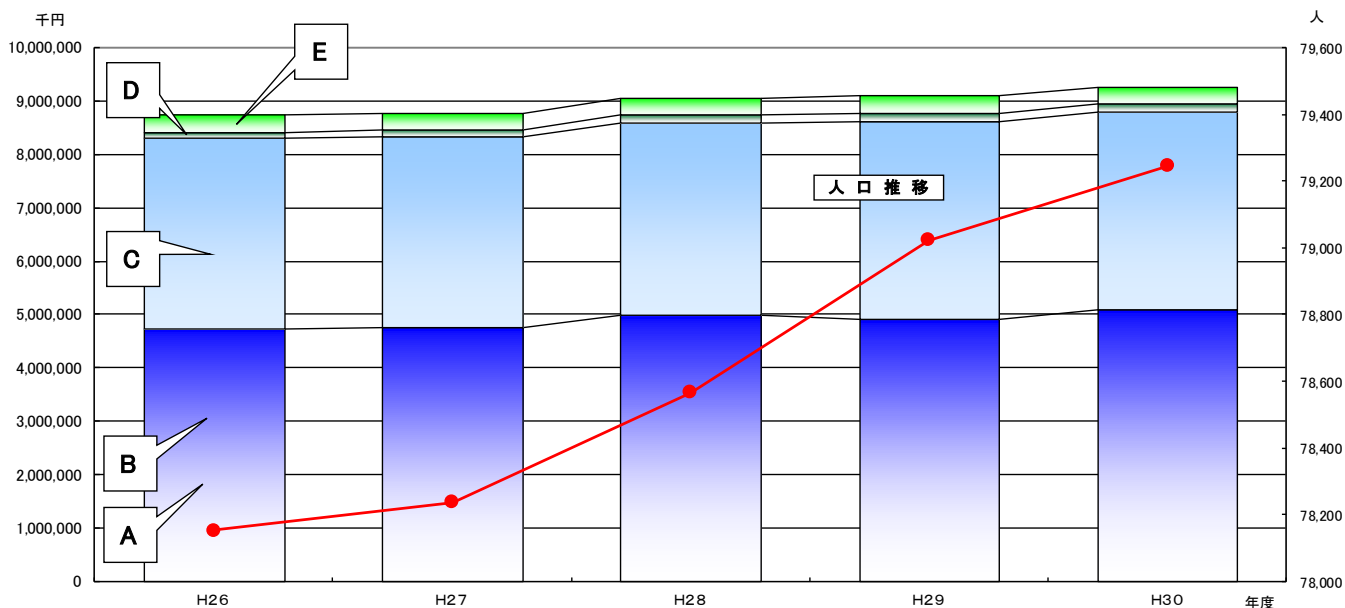
- ① 市税収入については、前年度と比較して1億5,740万円の増（1.7%増）の92億6,346万円を見込んでいます。個人市民税では1億2,000万円の増（2.6%増）、固定資産税では840万円の増（0.2%増）、軽自動車税では1,590万円の増（11.7%増）を見込んでいます。

### 〔市税収入見込額〕

（単位：千円：％）

	平成30年度 当初収入見込額 A	平成29年度 当初収入見込額 A	差引 A-B	増減率 (A-B)/B
市 民 税	5,097,200	4,929,100	168,100	3.4
個人市民税	4,721,600	4,601,600	120,000	2.6
法人市民税	375,600	327,500	48,100	14.7
固 定 資 産 税	3,713,962	3,705,562	8,400	0.2
軽 自 動 車 税	152,300	136,400	15,900	11.7
た ば こ 税	300,000	335,000	△ 35,000	△ 10.4
合 計	9,263,462	9,106,062	157,400	1.7

### 【税目別収入額の推移】



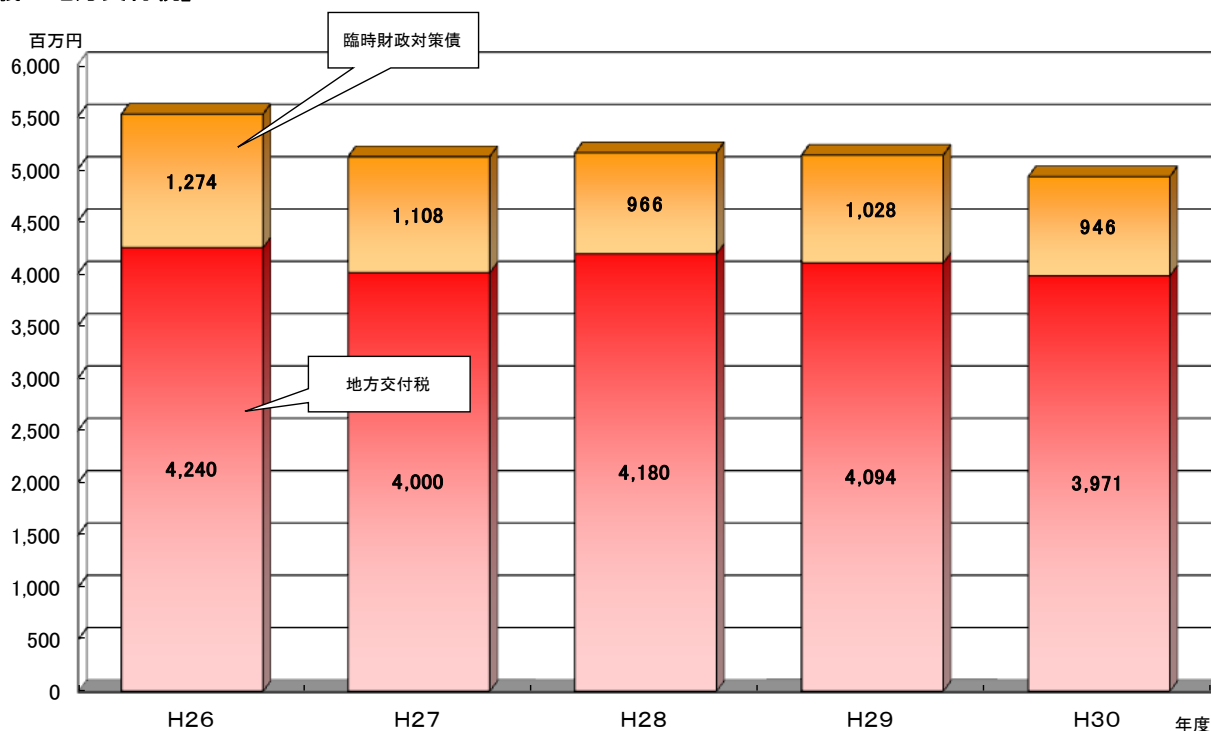
（単位：千円）

区 分	H26	H27	H28	H29	H30
市 町 村 民 税	4,736,000	4,770,700	4,990,600	4,929,100	5,097,200
うち個人(A)	4,378,000	4,428,500	4,626,300	4,601,600	4,721,600
うち法人(B)	358,000	342,200	364,300	327,500	375,600
固 定 資 産 税 (C)	3,573,063	3,570,062	3,620,762	3,705,562	3,713,962
軽 自 動 車 税 (D)	107,000	119,300	134,100	136,400	152,300
市 町 村 た ば こ 税 (E)	352,000	330,000	330,000	335,000	300,000
市 税 合 計	8,768,063	8,790,062	9,075,462	9,106,062	9,263,462
年 度	H26	H27	H28	H29	H30
人 口	78,152	78,236	78,566	79,023	79,246

※前年度3月31日時点人口

- ② 地方交付税については、平成29年度の交付実績と地方財政計画においての交付税総額の減（2.0%減）を踏まえつつ、前年度より1億2,300万円の減となる39億7,100万円（3.0%減）を計上しています。

### 【広義の地方交付税】



- ③ 国・県支出金については、53億6,869万円となり、前年度と比較して2億7,640万円の増（5.4%増）となっています。これは、障害扶助費の増に伴う社会福祉費負担金、児童扶助費の増に伴う児童福祉費負担金などの増加によるものです。

- ④ 市債については、17億1,250万円を計上しており、前年度と比較して4億2,050万円の減（19.7%減）となっています。これは、退職手当債やみつわ保育所整備事業債などの減額によるものです。

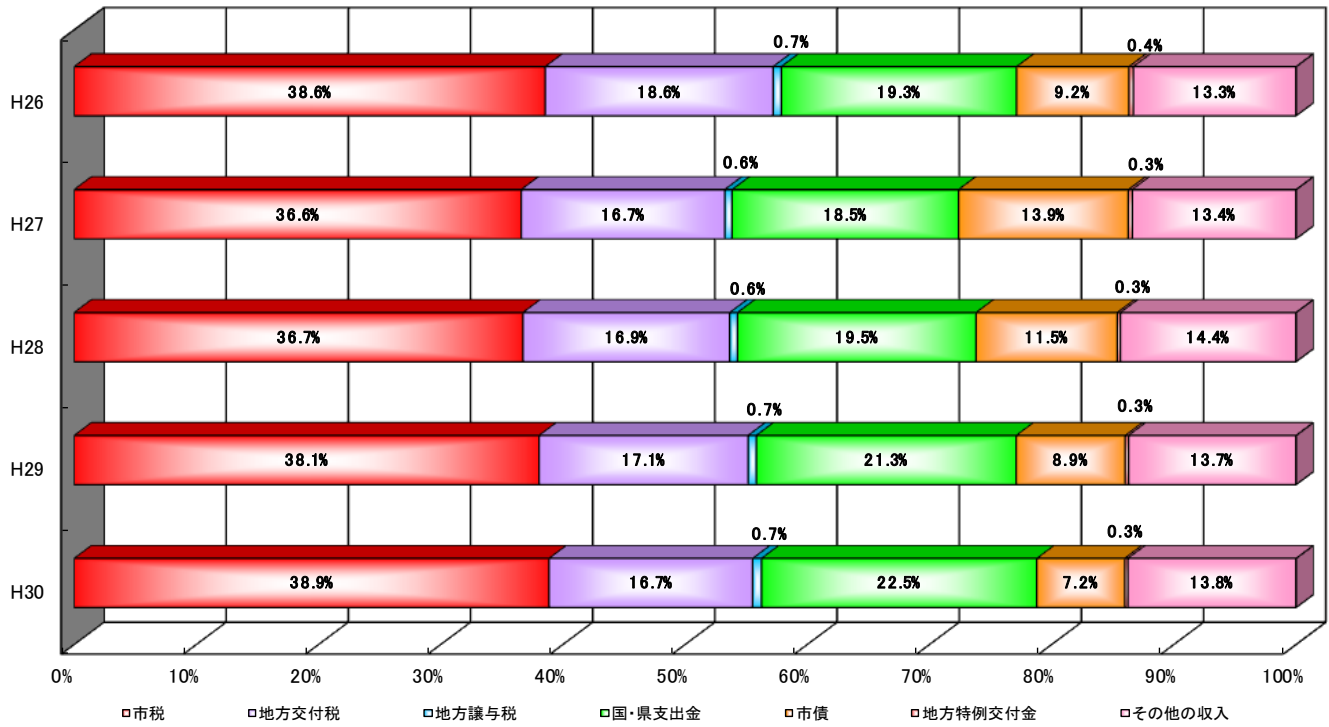
### 【一般会計歳入の内訳】

(単位:千円:%)

	平成30年度	平成29年度	比較		平成29年度
			増減	増減率(%)	構成比
市 税	9,263,462	9,106,062	157,400	1.7	38.9
地 方 交 付 税	3,971,000	4,094,000	△ 123,000	△ 3.0	16.7
地 方 譲 与 税	173,500	161,200	12,300	7.6	0.7
国 ・ 県 支 出 金	5,368,691	5,092,288	276,403	5.4	22.5
市 債	1,712,500	2,133,000	△ 420,500	△ 19.7	7.2
うち臨時財政対策債	946,000	1,028,100	△ 82,100	△ 8.0	4.0
地 方 特 例 交 付 金	63,000	63,700	△ 700	△ 1.1	0.3
そ の 他 の 収 入	3,277,847	3,279,750	△ 1,903	△ 0.1	13.8
合 計	23,830,000	23,930,000	△ 100,000	△ 0.4	100.0

各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

【一般会計歳入構造の推移】



## 歳出

- ① 人件費、扶助費、公債費の義務的経費については、131億2,782万円となっており、前年度と比較して1億2,268万円の減(0.9%減)を計上しています。  
人件費については退職手当等の減により3.3%の減、また扶助費については障害福祉費の増などにより5.1%の増となっています。  
一方、公債費については市債の発行抑制及び過去に発行した起債が順次償還を迎えたことなどにより、7.4%の減となっています。
- ② 物件費、維持補修費の消費的経費については、ごみ収集業務民間委託事業の拡充などの増加に伴って36億8,861万円となっており、前年度と比較して2億369万円の増(5.8%増)となっています。
- ③ 投資的経費については、スポーツ公園整備事業の増はあるものの、16億4,702万円となり、みつわ保育所の整備を実施した前年度と比較して、3億9,716万円の減(19.4%減)となっています。

### 【一般会計予算経費別総括表】

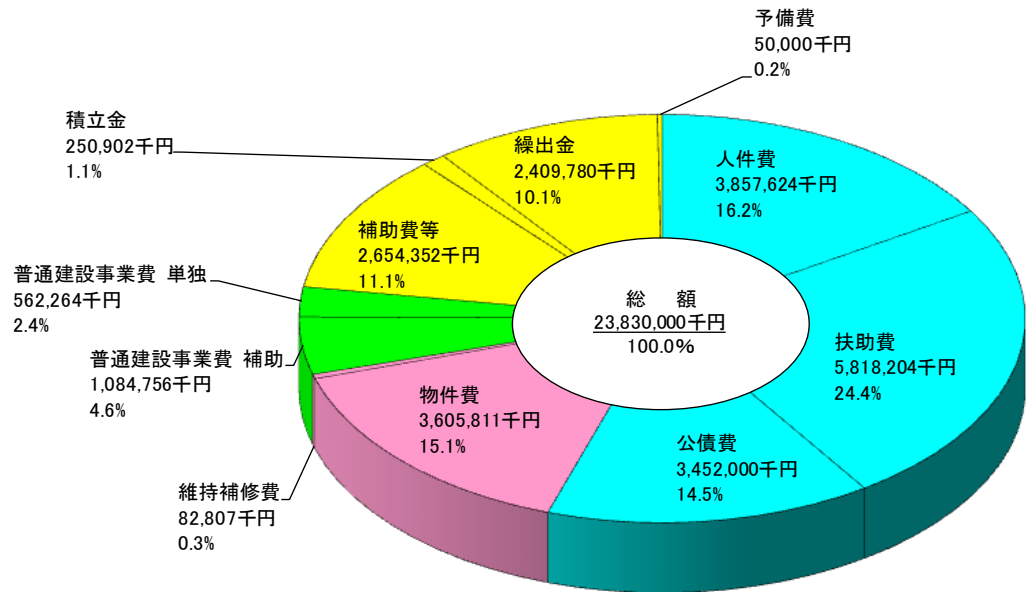
(単位：千円：%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	増減率	平成29年度構成比
義務的経費 計	13,127,828	13,250,514	△ 122,686	△ 0.9	55.1
人 件 費	3,857,624	3,988,784	△ 131,160	△ 3.3	16.2
扶 助 費	5,818,204	5,534,730	283,474	5.1	24.4
公 債 費	3,452,000	3,727,000	△ 275,000	△ 7.4	14.5
消費的経費 計	3,688,618	3,484,922	203,696	5.8	15.5
物 件 費	3,605,811	3,390,582	215,229	6.3	15.1
維持補修費	82,807	94,340	△ 11,533	△ 12.2	0.3
投資的経費 普通建設事業費	1,647,020	2,044,186	△ 397,166	△ 19.4	6.9
補 助	1,084,756	1,190,393	△ 105,637	△ 8.9	4.6
単 独	562,264	853,793	△ 291,529	△ 34.1	2.4
その他の経費 計	5,366,534	5,150,378	216,156	4.2	22.5
補 助 費 等	2,654,352	2,380,958	273,394	11.5	11.1
投資及び出資金	0	0	0	—	0.0
貸 付 金	1,500	3,000	△ 1,500	△ 50.0	0.0
積 立 金	250,902	194,483	56,419	29.0	1.1
繰 出 金	2,409,780	2,521,937	△ 112,157	△ 4.4	10.1
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.2
合 計	23,830,000	23,930,000	△ 100,000	△ 0.4	100.0

各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

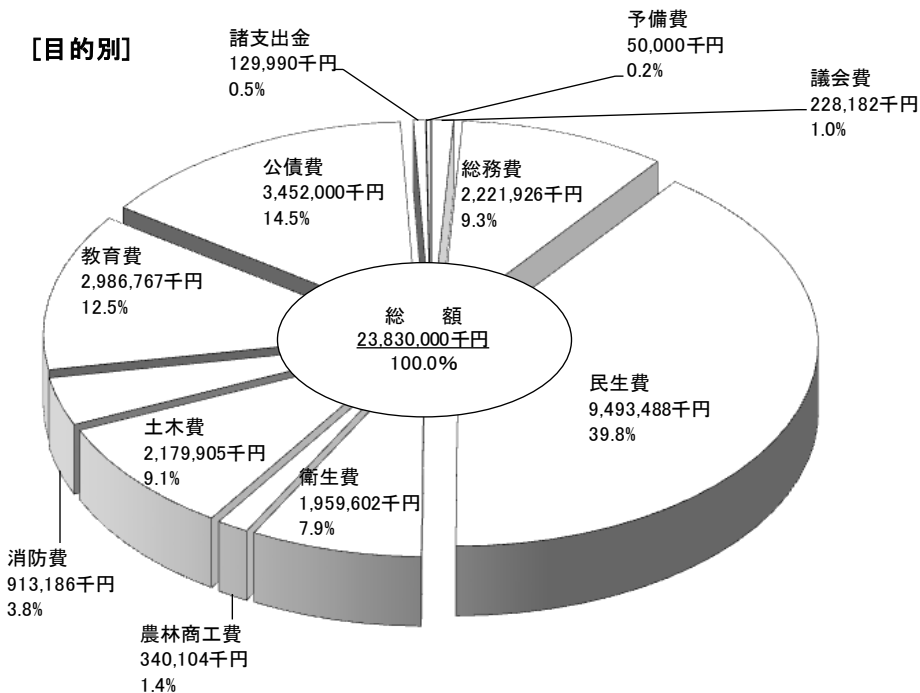
【平成30年度予算歳出構成比】

【性質別】



- 義務的経費(人件費+扶助費+公債費)
- 消費的経費(物件費+維持補修費)
- 投資的経費(普通建設事業費 補助+単独)
- その他の経費(補助費等+出資及び投資金+貸付金+積立金+繰出金+予備費)

【目的別】



【平成30年度一般会計予算を市民一人当たりの予算に置き換えると・・・】

市民一人当たりの予算

**300,709** 円

1世帯当たりの予算 **770,748** 円

市の人口 **79,246** 人

市の世帯 **30,918** 世帯

(平成30年3月31日現在)

<b>【民生費】</b> 高齢者、児童の福祉などに 119,798 円 39.8 %	<b>【衛生費】</b> ごみ処理、病気予防などに 23,149 円 7.7 %
<b>【公債費】</b> 借入金の返済に 43,561 円 14.5 %	<b>【消防費】</b> 消防活動や防災のために 11,523 円 3.8 %
<b>【教育費】</b> 学校、図書館の運営などに 28,039 円 9.3 %	<b>【議会費】</b> 市議会を運営するために 2,879 円 1.0 %
<b>【総務費】</b> 文化振興、情報化などに 37,690 円 12.5 %	<b>【農林商工費】</b> 農業の振興などに 4,292 円 1.4 %
<b>【土木費】</b> 道路、河川の整備などに 27,508 円 9.1 %	<b>【その他】</b> 諸支出金・予備費 2,271 円 0.8 %

【もし香芝市が給料収入500万円の家庭だったら・・・】

収入		支出	
給料 (市税)	500 万円	食費 (人件費)	208 万円
パート収入 (雇用料・手数料など)	92 万円	生活費 (物件費・補助費等)	338 万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など)	595 万円	医療費 (扶助費)	314 万円
貯金の取り崩し (繰入金)	6 万円	自宅の修理代 (維持補修費)	4 万円
借入金 (市債)	92 万円	車・土地の購入費 (普通建設事業費)	89 万円
合計	1,286 万円	子どもへの仕送り (他会計への繰出金など)	130 万円
借入金の残高 (一般会計) ※平成29年度末見込み	1,780 万円	借入金の返済 (公債費)	186 万円
		貯金 (積立金・貸付金など)	16 万円
		合計	1,286 万円